

## II コミュニティ・ビジネス

### ——平成17年度助成事例紹介——

## 2. 高齢者杵柄IT集団による 中小企業向けコミュニティビジネス事業

特定非営利活動法人 北九州テクノサポート

会長 秦 吉 昭



北九州地域の高齢化率は高く、最近素材産業はやや持ち直したと言われていますが、いわゆる鉄冷え等で体力が脆弱化し、中小企業の活力はまだまだ回復されているとは申せません。北九州地域には、ものづくりの街であり企業をリタイヤした後、蓄積した技術を地域社会へ役立てたいと願っている技術者が多数いる一方で、中小企業では、必ずしも人材がゆたかではなく、人材育成、IT化、新技術等々への対応が必ずしも進んでいるとはいえません。

高齢者の技術を地域の企業にマッチングさせ、スモールビジネスとして事業化することによって、高齢者の雇用促進を図ると同時に、地域の中小企業経営者の悩みを解決することが出来れば一石二鳥です。ここで言う高齢者の雇用の感覚は、金儲けのために高齢者が仕事をするということではなく、社会・企業へ貢献することにより生きがいを見出すことを意味しています。NPO法人 北九州テクノサポートは、北九州の再生と活力あるまちづくりに寄与することを目的とするNPO法人です

本コミュニティビジネス事業の目的は、当NPO法人の中でIT化推進を核としたスモールビジネスとして、事業化することによって中小企業の業績の向上・活性化を図ると共に、さらに発展させることで、当NPO法人のIT部門へシニア世代を呼び込みやすくし、高齢者雇用の促進・活性化を図る足がかりとすることです。



会長とIT支援部会のメンバー



本コミュニティビジネス事業は、具体的には何をしようとしているか一言でいいますと、地域中小企業の企業経営における、ITに関する課題を解決することです。もっと具体的に言いますと、ホームページによる営業支援、Excel・Accessを活用した売上管理・品質管理・業務改善支援、等々の対応可能な課題から、地域中小企業が希望する課題を設定して、北九州テクノサポートの会員が専門家派遣員として中小企業に出向き、設定した課題を解決することです。



パソコン講座の実施風景

しかし課題を設定するには、ITについての理解が必要です。ITはどういった活用が出来るのか、どのように活用すれば業績の改善・向上の成果が得られるのかを裾野広く認識していただき、課題設定の輪を相互に結びつけることが必要であると考えます。そのためには、出前教育、例えばパソコン講座を工業団地で開催するのがよい方法ではないかと考えます。既に課題を受けて解決しておりますが、多くの課題はパソコン講座から掘り起こされるものと考えます。



パソコン講座の実施風景（ロジスティック曲線の説明）

今回のコミュニティビジネス事業化支援事業の助成により、パソコン講座を推進できる段取りが整いましたので、手始めに20社の工業団地において、パソコン講座3回コースを2回開催しました。受講者は18名でした。アンケートをしましたところ、1人は、物足りなかった、1名はついてこれなかった、大半は満足していただいたという結果でした。今後、この団地では勉強会という形で続けていく考えですし、順次各所でパソコン講座を開催していく計画です。そしてITに関する課題を掘り起こして解決し、中小企業の業績改善に寄与したいと考えます。

高齢化の問題等は北九州地域だけの問題ではなく、本コミュニティビジネス事業が順調に発展していくことになれば、他の地域での活動の道標にもなるのではないかとその思いもあって頑張っているところです。